

(2) 蘇苔類概説

(ア) 埼玉県内に生育する蘇苔類の特色

県内には、低地の暖温帯（照葉樹林帯）から高地の亜寒帯（針葉樹林帯）に至るまで様々な森林が発達し、気候や植生が多様である。蘇苔類は各森林帯の分布とともに出現する種類が異なっている。秩父山地の高地には北半球の冷温帯に広く分布する周北要素の種が多く、標高が下がって山地帯になるに従いヒマラヤから中国、台湾などに分布する東アジア要素の種や日本固有種が多く生育する。また、地質的にも多様で岩石の種類が豊富である。蘇苔類の多くは着生基物（土壌・岩石・樹皮）に直接生育するため、それらの酸性度や含有成分などの性質の影響を受けやすい。したがって、石灰岩やチャートをはじめとする様々な岩石が存在する埼玉県は、国内でも数少ない多数の蘇苔類を産する県である。

このようなことから、埼玉県、特に秩父山地はわが国において最も有名な蘇苔類の産地として、古くから詳しく調べられ、生育する種類が最も解明されている都道府県の一つである。これまでにセン類約 530 種、タイ類約 220 種、ツノゴケ類 5 種が報告されている。しかし、低地は都市化が進み低地の湿地が減少している。以前は石灰岩地域の中には石灰採掘により消滅した地域が多かった。近年は石灰岩の岩壁を利用するクライミングが盛んになってきており、踏み付けやクライミング場整備のために荒廃が進んでおり、絶滅の危機に瀕している蘇苔類も多い。

① 暖温帯（照葉樹林）

暖温帯で蘇苔類の種類が多く見られるのは、埼玉県西部の比企丘陵を含む地域である。県内では降雨量が多く、温暖な地域であるため、暖かい地方の蘇苔類が多く見られ、北限となっている種類も多い。空中湿度の高い沢沿いには *Neodictyella flagellifera*（キヨスミイトゴケ）がスギの木の枝から垂れ下り、*Leptolejeunea elliptica*（カビゴケ）もアオキなどの生葉上に着生する。日当たりの良い沢沿いの木の幹や露出した根に生育する *Cyathophorella hookeriana*（コキジノオゴケ）、日陰の沢沿いのチャート上に見られる *Leskeodon maibarae*（ツガゴケ）もこの地域に見られる。北限の蘇類では石灰岩上に生育する *Pinnatella makinoi*（キブリハネゴケ）、苔類には *Plagiochila fruticosa*（トサハネゴケ）や *Frullania sackawana*（サカワヤスデゴケ）などが知られている。しかし、森林の伐採や道路の整備、宅地開発、交通量の増加等で徐々に乾燥化が進み、懸垂性の蘇類や生葉上の苔類が減少している。また、特異な分布をする蘇苔類も知られている。吉見町の吉見百穴や小川町では標高が低いにもかかわらず、一般的には亜高山帯に見られる *Schistostega pennata*（ヒカリゴケ）が生育している。一方、埼玉県東・南・西部地域は稲作地帯が広がり、人為的に管理されていたコナラやクヌギの薪炭林が発達する里山だった。戦後、圃場整備と乾田化が進み、水田とその周辺の蘇苔類は激減したと思われるが、かつての記録が少なく、その変化は不明である。また、薪炭林は放棄され、林床がササで覆われてしまい、蘇苔類はほとんど見られなくなった。近年、都市化が進み、蘇苔類相は益々貧弱になったが、水田やため池、用排水路には稲作のサイクルに適応した蘇苔類の生育が見られる。しかし、近年農薬などの影響で極端に減少している。これらの種には *Ricciocarpos natans*（イチョウウキゴケ）、*Riccia fluitans*（ウキウキゴケ）などがある。また、水辺環境の保護が叫ばれているが、県内の湿地には *Calliergonella cuspidata*（ヤリノホゴケ）、*Sasaokaea aomoriensis*（ササオカゴケ）などの生育が確認されている。水辺の環境が激変している近年、蘇苔類相の変化をモニタリングする必要がある。

② 冷温帯（夏緑樹林帯）

秩父地域や西部地域の標高約 500m から 1,500m にはブナ・ミズナラの優占する森林が発達する。人為的な影響が少ないこれらの極相林には樹皮に着生する蘇苔類が多く見られる。この夏緑樹林帯には、多くの石灰岩地が位置している。武甲山、中津川出合、大血川西谷、前白岩山、芋ノ木ドッケ、豆焼沢、小鹿野町の二子山などである。石灰岩は塩基性岩であるため、石灰岩地域という特異な地域でしか見られない種類も多い。蘇類では

Syntrichia gemmascens (ムカゴネジレゴケ)、*Didymodon leskeoides* (イトヒキフタゴケ)、*Gollania neckerella* (テリハラッコゴケ)、*G. turgens* (ナガバラッコゴケ)、*Miyabea naganoi* (ナガノミヤベゴケ)、*Orthothecium intricatum* (コホソバツヤゴケ)、*O. rufescens* (ホソバツヤゴケ)、*Timmia megapolitana* (ミヤマクサスギゴケ)、*Podperaea krylovii* (ヒメコガネハイゴケ) などがある。苔類では *Mesoptychia chichibuensis* (チチブブシュカンゴケ)、*M. igiana* (イギイチョウゴケ) が出現する。石灰岩地域ではないが苔類の *Acrobolbus ciliatus* (チチブイチョウゴケ)、*Asterella cruciata* (オオサイハイゴケ)、*Clevea pusilla* (チチブゼニゴケ)、*Targionia hypophylla* (ハマグリゼニゴケ)、*Scapania cuspiduligera* (ミゾゴケモドキ) がある。これらのように国内では非常に珍しく、生育環境が保護されなければ絶滅してしまう種類が多い。

Mannia californica (ウルシゼニゴケ) と *M. androgyna* (ダンゴゼニゴケ) は 50 年以上確認できていないため、今回絶滅 EX とした。

③ 亜寒帯 (針葉樹林帯)

秩父山地の高地には、シラビソやオオシラビソ、コメツガが優占する極相林の針葉樹林が広がっている。十文字峠から水晶峠にいたる林床は一面が蘇苔類に覆われ、樹幹にも多くの種類が着生しているが、種類は限られている。*Apotreubia nana* (ヒメトロイブゴケ) はこのような蘇苔類の群落に混生する。また、*Calycularia laxa* (ミヤマミズゼニゴケ) や *Neohattoria herzogii* (ハットリヤスデゴケ) も生育している。針葉樹林帯の石灰岩地である秩父市の赤沢岳から梓白岩にかけての稜線上には蘇苔類では、*Bryonorrhisia acutifolia* (トガリバギボウシゴケ)、*Didymodon nigrescens* (カイガネクロゴケ)、*Encalypta rhaptocarpa* (ミヤマヤリカツギ)、*Buckia vaucheri* (ハイヒバゴケモドキ)、*Tortula sinensis* (ミヤマコネジレゴケ) が生育している。苔類では *Scapania verrucosa* (イボヒシヤクゴケ)、*Plagiochila gracilis* (ヒゲハネゴケ) が生育している。

(イ) 文献

紙面の都合上、文献としてはなるべく手に入りやすく、図版のそろっているものを記載した。その他、埼玉県内の蘇苔類の分類と分布については次にあげる文献を参考にしたい。

- 服部新佐編 (1972), 原色日本蘇苔類図鑑. 405. 保育社. 大阪
井上浩 (1962), タイ類. 埼玉県植物誌. 239-251. 埼玉県教育委員会
岩月善之助編 (2001), 日本の野生植物コケ. 平凡社. 355. 東京
木口博史 (1992), コケ植物目録. 自然誌編調査記録集. 134-141. 埼玉県日高市教育委員会
木口博史 (2003), 小川町の蘇苔類. 小川町の自然 植物編. 217-225. 小川町
木口博史・平岡照代 (2008), 越生町蘇苔類目録. 越生町史自然史編. 越生の自然. 547-226. 越生町
木口博史 (2019), ナガノミヤベゴケの再発見. 蘇苔類研究 (Bryol. Res.) 11 (12) : 346, May 2019
永野巖 (1960), 秩父地方の蘇苔類 (4) 能林における蛇紋岩着生蘇苔類の群落学的研究. 秩父自然 科学博物館研究報告
永野巖 (1962), 蘇苔類. 埼玉県植物誌. 211-238. 埼玉県教育委員会
永野巖 (1964a), 秩父山地における蘇苔類数種の分布と着生基物について. 秩父市自然科学博物館 研究報告. 12 : 45-51
永野巖 (1964b), 奥秩父蘇苔類雑記 (3). 秩父自然科学博物館研究報告. 12 : 53-56
永野巖・木口博史 (1995), 玉川村コケ植物目録. 玉川村植物誌. 195-203. 玉川村
永野巖・木口博史・古木達郎 (1998), 埼玉の蘇苔類. 埼玉県植物誌. 491-526. 埼玉県教育委員会
Noguchi, A (1985), Illustrated Moss Flora of Japan. 1.1-242. HBL. Miyazaki

Noguchi, A (1988), Illustrated Moss Flora of Japan. 2.243-491. HBL. Miyazaki
Noguchi, A (1989), Illustrated Moss Flora of Japan. 3.492-742. HBL. Miyazaki
Noguchi, A (1991), Illustrated Moss Flora of Japan. 4.743-1012. HBL. Miyazaki
Noguchi, A (1994), Illustrated Moss Flora of Japan. 5.1013-1216. HBL. Miyazaki
日本産蘚類チェックリスト | 服部植物研究所. (2022, December 30). Hattorilab.org. <https://hattorilab.org/checklist1/>

2001

ジンガサゴケ科苔類

埼玉カテゴリ

2024 EX
2005 CE

2011 CE
1998 DD

〔和名〕

ウルシゼニゴケ

全国カテゴリ

2020 CE

〔学名〕

Mannia californica (Gottsche ex Underw.) L.C.Wheeler

【評価所見】

50年以上生育が確認できないため、絶滅した可能性が高い。採集価値は低く、採集圧は低い。

【県内生育状況】

秩父地域が国内で唯一の生育地として知られていた。

【県内分布状況】

亜高山	山地	低山西	低山東	丘陵北	丘陵南	荒川 西台地	大宮 台地	加須・ 中川低地
		○						

2002

ジンガサゴケ科苔類

埼玉カテゴリ

2024 EX
2005 なし

2011 なし
1998 なし

〔和名〕

ダンゴゼニゴケ

全国カテゴリ

2020 なし

〔学名〕

Mannia androgyna (L.) A.Evans

【評価所見】

50年以上生育が確認できないため、絶滅した可能性が高い。

【県内生育状況】

県内で採集されたということのみ記録あり、詳細不明。

【県内分布状況】

亜高山	山地	低山西	低山東	丘陵北	丘陵南	荒川 西台地	大宮 台地	加須・ 中川低地

2003

ヤスデゴケ科苔類

埼玉カテゴリ

2024 EX
2005 DD

2011 DD
1998 DD

〔和名〕

サカワヤスデゴケ

全国カテゴリ

2020 VU

〔学名〕

Frullania sackawana Steph.

【評価所見】

飯能市で報告されていたが、その後50年以上にわたり生育が確認されないため、絶滅した可能性が高い。

【県内生育状況】

常緑樹林の岩上に生育していた

【特記事項】

【県内分布状況】

亜高山	山地	低山西	低山東	丘陵北	丘陵南	荒川 西台地	大宮 台地	加須・ 中川低地
			○					

2004

トロイブゴケ科苔類

埼玉カテゴリ

2024 CE
2005 CE

2011 CE
1998 CE

〔和名〕

ヒメトロイブゴケ

全国カテゴリ

2020 CE

〔学名〕

Apotreubia nana (S.Hatt. & Inoue) S.Hatt. & Mizut.

【評価所見】

秩父地域の山地で確認されている。近年のシカの食害による森林の荒廃・乾燥化などが懸念される危険要因である。

【県内生育状況】

亜高山帯の林床や露岩上に生育

【特記事項】

【県内分布状況】

亜高山	山地	低山西	低山東	丘陵北	丘陵南	荒川 西台地	大宮 台地	加須・ 中川低地
	○							

2005

ジンガサゴケ科苔類

埼玉カテゴリ

2024 CE
2005 CE

2011 CE
1998 CE

〔和名〕

オオサイハイゴケ

全国カテゴリ

2020 VU

〔学名〕

Asterella cruciata (Steph.) Horik.

【評価所見】

秩父地域の石灰岩地で確認されている。石灰岩地のクライミング場利用での踏み付けなどが懸念される危険要因である。

【県内生育状況】

低地の石灰岩上に生育

【特記事項】

【県内分布状況】

亜高山	山地	低山西	低山東	丘陵北	丘陵南	荒川 西台地	大宮 台地	加須・ 中川低地
		○						

2006

ジンガサゴケ科苔類

埼玉カテゴリ

2024 CE
2005 CE

2011 CE
1998 CE

[和名]

アツバサイハイゴケ

[学名]

Asterella mussuriensis (Kashyap) Verd. subsp. crassa (Shimizu & S.Hatt.) D.G.Long

全国カテゴリ

2020 なし

【評価所見】

秩父地域や小鹿野町で確認されている。石灰岩地のクライミング場利用での踏み付けなどが懸念される危険要因である。

【県内生育状況】

石灰岩地の湿った岩壁に生育

【特記事項】

【県内分布状況】

亜高山	山地	低山西	低山東	丘陵北	丘陵南	荒川 西台地	大宮 台地	加須・ 中川低地
	○	○						

2007

ジンガサゴケ科苔類

埼玉カテゴリ

2024 CE
2005 CE

2011 CE
1998 なし

〔和名〕

イワゼニゴケ

〔学名〕

Mannia triandra (Scop.) Grolle

全国カテゴリ

2020 CE

【評価所見】

飯能市で確認されている。山林の荒廃などが懸念される危険要因である。採集圧は低い。

【県内生育状況】

川沿いに発達したサワグルミ林やウダイカンバ林の林床に生育

【特記事項】

【県内分布状況】

亜高山	山地	低山西	低山東	丘陵北	丘陵南	荒川 西台地	大宮 台地	加須・ 中川低地
			○					

2008

ジンチョウゴケ科苔類

埼玉カテゴリ

2024 CE
2005 CE

2011 CE
1998 CE

〔和名〕

チチブゼニゴケ

〔学名〕

Clevea pusilla (Steph.) Rubasinghe & D.G.Long

【評価所見】

秩父地域の山地で確認されている。近年のシカの食害による森林の荒廃・乾燥化などが懸念される危険要因である。

【県内生育状況】

山地帯～亜高山帯の湿潤な岩壁の割れ目や、山地の湿岩上や土上などに生育

【特記事項】

国内では他に、北海道、長野県、三重県から報告がある。

【県内分布状況】

亜高山	山地	低山西	低山東	丘陵北	丘陵南	荒川西台地	大宮台地	加須・中川低地
	○							

2009

ヤスデゴケ科苔類

〔和名〕

ハットリヤスデゴケ

〔学名〕

Neohattoria herzogii (S.Hatt.) Kamim.

埼玉カテゴリ

2024 CE
2005 CE

2011 CE
1998 CE

全国カテゴリ

2020 CE

【評価所見】

秩父地域の山地で確認されている。近年のシカの食害による森林の荒廃・乾燥化などが懸念される危険要因である。

【県内生育状況】

亜高山帯の樹幹に生育

【特記事項】

【県内分布状況】

亜高山	山地	低山西	低山東	丘陵北	丘陵南	荒川 西台地	大宮 台地	加須・ 中川低地
	○							

2010

クサリゴケ科苔類

〔和名〕カビゴケ

〔学名〕*Leptolejeunea elliptica* (Lehm. & Lindenb.) Schiffn.

埼玉カテゴリ

2024 CE
2005 CE

2011 CE
1998 CE

全国カテゴリ

2020 NT

【評価所見】西部地域の山地で確認されている。生育場所が特殊なため発見されることはまれ。近年のシカの食害による森林の荒廃・乾燥化などが懸念される危険要因である。

【県内生育状況】常緑樹林で溪流沿いの生きた葉の上に生育

【特記事項】

【県内分布状況】

亜高山	山地	低山西	低山東	丘陵北	丘陵南	荒川 西台地	大宮 台地	加須・ 中川低地
					○			

2011

クサリゴケ科苔類

〔和名〕ツジベゴヘイゴケ

〔学名〕*Tuzibeanthus chinensis* (Steph.) Mizut.

【評価所見】秩父地域の石灰岩地で確認されている。石灰岩地のクライミング場利用での踏み付けなどが懸念される危険要因である。

【県内生育状況】山地の石灰岩に着生

【特記事項】

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県

埼玉県</

2016 ヒシャクゴケ科苔類

〔和名〕イボヒシャクゴケ

〔学名〕*Scapania verrucosa* Heeg

埼玉カテゴリ

2024 CE
2005 CE2011 CE
1998 VU

全国カテゴリ

2020 なし

【評価所見】秩父地域の亜高山帯の山地1か所で確認されている。近年のシカの食害による森林の荒廃・乾燥化などが懸念される危険要因である。

【県内生育状況】石灰岩上に生育

【特記事項】国内では他に、長野県、徳島県から報告がある。

【県内分布状況】

亜高山	山地	低山西	低山東	丘陵北	丘陵南	荒川 西台地	大宮 台地	加須・ 中川低地
○								

2017 チチブイチョウゴケ科苔類

〔和名〕チチブイチョウゴケ（チチブイチョウウロコゴケ）

〔学名〕*Acrobolbus ciliatus* (Mitt.) Schiffn.

埼玉カテゴリ

2024 CE
2005 CE2011 CE
1998 CE

全国カテゴリ

2020 VU

【評価所見】秩父地域の山地で確認されている。近年のシカの食害による森林の荒廃・乾燥化などが懸念される危険要因である。

【県内生育状況】山地の湿った岩上に生育

【特記事項】

【県内分布状況】

亜高山	山地	低山西	低山東	丘陵北	丘陵南	荒川 西台地	大宮 台地	加須・ 中川低地
○								

2018 ツボミゴケ科苔類

〔和名〕チチブブシュカンゴケ（チチブシュカンゴケ）

〔学名〕*Mesoptychia chichibuensis* (Inoue) L.Söderstr. & Våna (= *Leiocolea chichibuensis* (Inoue) Inoue)

埼玉カテゴリ

2024 CE
2005 なし2011 CE
1998 なし

全国カテゴリ

2020 なし

【評価所見】秩父地域の石灰岩地で確認されている。石灰岩地のクライミング場利用での踏み付けなどが懸念される危険要因である。

【県内生育状況】亜高山帯の石灰岩上に生育

【特記事項】

【県内分布状況】

亜高山	山地	低山西	低山東	丘陵北	丘陵南	荒川 西台地	大宮 台地	加須・ 中川低地
	○							

2019 ツボミゴケ科苔類

〔和名〕イギイチョウゴケ

〔学名〕*Mesoptychia igiana* (S.Hatt.) L.Söderstr. & Våna (= *Leiocolea igiana* (S.Hatt.) Inoue)

埼玉カテゴリ

2024 CE
2005 CE2011 CE
1998 CE

全国カテゴリ

2020 VU

【評価所見】秩父地域の石灰岩地で確認されている。生育地の乾燥の他、石灰岩地のクライミング場利用での踏み付けなどが懸念される危険要因である。

【県内生育状況】亜高山帯の湿った石灰岩上に生育

【特記事項】

【県内分布状況】

亜高山	山地	低山西	低山東	丘陵北	丘陵南	荒川 西台地	大宮 台地	加須・ 中川低地
	○							

2020 キセルゴケ科蘚類

〔和名〕カシミールクマノゴケ（カシミールクマノゴケ）

〔学名〕*Diphyscium kashmirensense* (H.Rob.) Magombo

埼玉カテゴリ

2024 CE
2005 CE2011 CE
1998 CE

全国カテゴリ

2020 VU

【評価所見】秩父地域と西部地域の2か所で確認されている。山林の荒廃による乾燥化や道路拡張などによる開発などが懸念される危険要因である。採集圧は低い。

【県内生育状況】谷筋の水面から少し離れた岩上に生息

【特記事項】

【県内分布状況】

亜高山	山地	低山西	低山東	丘陵北	丘陵南	荒川 西台地	大宮 台地	加須・ 中川低地
			○					

2021 キセルゴケ科蘇類

(和名) クマノゴケ

(学名) *Dipyscium lorifolium* (Cardot) Mogombo埼玉カテゴリ 2024 CE 2011 CE
2005 CE 1998 CE

全国カテゴリ 2020 NT

【評価所見】秩父地域と西部地域の4か所で確認されている。山林の荒廃、斜面崩落の他、道路拡張やキャンプ場整備などの開発等が懸念される危険要因である。採集圧は低い。

【県内生育状況】谷筋の水のかかる岩上に生息

【特記事項】

【県内分布状況】

亜高山	山地	低山西	低山東	丘陵北	丘陵南	荒川 西台地	大宮 台地	加須・ 中川低地
		○	○					

2022 ホウオウゴケ科蘇類

(和名) ジョウレンホウオウゴケ

(学名) *Fissidens geppii* M.Fleisch.埼玉カテゴリ 2024 CE 2011 CE
2005 なし 1998 なし

全国カテゴリ 2020 VU

【評価所見】西部地域の5か所で確認されている。山林の乾燥化によるきれいな流水の消滅や道路拡張などの開発等が懸念される危険要因である。

【県内生育状況】水のかかる岩上に生息

【特記事項】

【県内分布状況】

亜高山	山地	低山西	低山東	丘陵北	丘陵南	荒川 西台地	大宮 台地	加須・ 中川低地
			○					

2023 コシッポゴケ科蘇類

(和名) トガリバキノシッポゴケ

(学名) *Seligeria acutifolia* Lindb.埼玉カテゴリ 2024 CE 2011 CE
2005 なし 1998 なし

全国カテゴリ 2020 なし

【評価所見】秩父地域の石灰岩地3か所で確認されている。生育地の乾燥の他、石灰岩地開発やクライミング場利用での踏み付けなどが懸念される危険要因である。

【県内生育状況】やや湿った石灰岩壁に生息

【特記事項】国内では他に埼玉以西の本州と四国で報告がある。

【県内分布状況】

亜高山	山地	低山西	低山東	丘陵北	丘陵南	荒川 西台地	大宮 台地	加須・ 中川低地
○	○							

2024 コシッポゴケ科蘇類

(和名) ヒメキノシッポゴケ

(学名) *Seligeria calcarea* (Hedw.) Bruch & Schimp.埼玉カテゴリ 2024 CE 2011 CE
2005 なし 1998 なし

全国カテゴリ 2020 なし

【評価所見】秩父地域の石灰岩地で確認されている。生育地の乾燥の他、石灰岩地開発やクライミング場利用での踏み付けなどが懸念される危険要因である。

【県内生育状況】やや湿った石灰岩壁に生息

【特記事項】国内では他に本州・四国で報告がある。

【県内分布状況】

亜高山	山地	低山西	低山東	丘陵北	丘陵南	荒川 西台地	大宮 台地	加須・ 中川低地
○	○							

2025 コシッポゴケ科蘇類

(和名) ハナシキノシッポゴケ

(学名) *Seligeria donniana* (Sm.) Müll.Hal.埼玉カテゴリ 2024 CE 2011 CE
2005 CE 1998 CE

全国カテゴリ 2020 VU

【評価所見】秩父地域の亜高山帯3か所で確認されている。生育地はかざられており石灰岩地開発やクライミング場利用での踏み付けなどが懸念される危険要因である。採取圧は低い。

【県内生育状況】微小なコケの一種で石灰岩上に散生

【特記事項】国内では他に岩手県以西の本州と四国から報告がある。

【県内分布状況】

亜高山	山地	低山西	低山東	丘陵北	丘陵南	荒川 西台地	大宮 台地	加須・ 中川低地
○	○							

2026 コシッポゴケ科蘇類

(和名) チチブキヌシッポゴケ

(学名) *Seligeria galinae* Mogesen & I.Goldberg

埼玉カテゴリ

2024 CE
2005 CE2011 CE
1998 なし

全国カテゴリ

2020 なし

【評価所見】秩父地域の亜高山帯3か所で確認されている。石灰岩地開発やクライミング場利用での踏み付けなどが懸念される危険要因である。採取圧は低い。

【県内生育状況】 やや湿った石灰岩壁に生息

【特記事項】 国内では現在のところ、埼玉県内でしか報告されていない。

【県内分布状況】

亜高山	山地	低山西	低山東	丘陵北	丘陵南	荒川 西台地	大宮 台地	加須・ 中川低地
○		○						

2027 コシッポゴケ科蘇類

(和名) コキヌシッポゴケ

(学名) *Seligeria pusilla* (Hedw.) Bruch et Schimp. in B.S.G.

埼玉カテゴリ

2024 CE
2005 CE2011 なし
1998 CE

全国カテゴリ

2020 CE

【評価所見】 県内で過去に生育が確認されている。

【県内生育状況】 湿った石灰岩上に散生

【特記事項】

【県内分布状況】

亜高山	山地	低山西	低山東	丘陵北	丘陵南	荒川 西台地	大宮 台地	加須・ 中川低地
	○							

2028 コシッポゴケ科蘇類

(和名) エゾキヌシッポゴケ

(学名) *Seligeria tristichoides* Kindb.

埼玉カテゴリ

2024 CE
2005 なし2011 CE
1998 なし

全国カテゴリ

2020 CE

【評価所見】秩父地域の亜高山帯で確認されている。生育地はかざられており石灰岩地開発やクライミング場利用での踏み付けなどが懸念される危険要因である。採取圧は低い。

【県内生育状況】 湿った石灰岩壁に生息

【特記事項】 国内では他に北海道から報告がある。

【県内分布状況】

亜高山	山地	低山西	低山東	丘陵北	丘陵南	荒川 西台地	大宮 台地	加須・ 中川低地
	○							

2029 センボンゴケ科蘇類

(和名) ムカゴネジレゴケ

(学名) *Syntrichia gemmascens* (P.C.Chen) R.H.Zander

埼玉カテゴリ

2024 CE
2005 CE2011 CE
1998 なし

全国カテゴリ

2020 CE

【評価所見】秩父地域の5か所で確認されている。石灰岩地開発やクライミング場利用での踏み付けなどが懸念される危険要因である。採取圧は低い。

【県内生育状況】 やや湿った石灰岩の岩壁や樹木の樹幹に生育

【特記事項】

【県内分布状況】

亜高山	山地	低山西	低山東	丘陵北	丘陵南	荒川 西台地	大宮 台地	加須・ 中川低地
○	○	○						

2030 センボンゴケ科蘇類

(和名) クロコゴケ

(学名) *Luisierella barbula* (Schwaegr.) Steere

埼玉カテゴリ

2024 CE
2005 なし2011 CE
1998 なし

全国カテゴリ

2020 CE

【評価所見】奥秩父の2か所で確認されている。個体が小さいため見つけるのは容易ではない。石灰岩地開発やクライミング場利用での踏み付けなどが懸念される危険要因である。採取圧は低い。

【県内生育状況】 石灰岩上に生育

【特記事項】 国内では他に琉球列島、九州、四国、本州で報告がある。

【県内分布状況】

亜高山	山地	低山西	低山東	丘陵北	丘陵南	荒川 西台地	大宮 台地	加須・ 中川低地
		○						

2031

センボンゴケ科蘚類

埼玉カテゴリ

2024 CE
2005 CE

2011 CE
1998 CE

〔和名〕

ハリイシバイゴケ

〔学名〕

Molendoa sendtneriana (Bruch et Schimp. in B.S.G.) Limpr.

全国カテゴリ

2020 なし

【評価所見】

秩父地域の2か所で確認されている。石灰岩地開発やクライミング場利用での踏み付けなどが懸念される危険要因である。採取圧は低い。

【県内生育状況】

山地のやや湿った石灰岩壁に生育

【特記事項】

2032

センボンゴケ科蘚類

埼玉カテゴリ

2024 CE
2005 CE

2011 CE
1998 CE

〔和名〕

ミヤマコネジレゴケ

〔学名〕

Tortula sinensis (Müll.Hal.) Broth.

全国カテゴリ

2020 CE

【評価所見】

秩父地域の1か所で確認されている。石灰岩地開発やクライミング場利用での踏み付けなどが懸念される危険要因である。採取圧は低い。

【県内生育状況】

乾いた石灰岩の岩上や岸壁に生育

【特記事項】

国内では他に群馬県、長野県で報告がある。

2033

オオツボゴケ科蘚類

埼玉カテゴリ

2024 CE
2005 CE

2011 CE
1998 CE

〔和名〕

イシツチゴケ

〔学名〕

Oedipodium griffithianum (Dicks.) Schwaegr.

全国カテゴリ

2020 VU

【評価所見】

秩父地域の十文字峠～三国峠間の山稜沿いにわずかなではあるが、広く分布すると永野（1962）にあるが、秩父地域の2か所で確認されている。山地の荒廃などが懸念される危険要因である。

【県内生育状況】

亜高山帯の岩の隙間などに生育

【特記事項】

2034

ヒカリゴケ科蘚類

埼玉カテゴリ

2024 CE
2005 CE

2011 CE
1998 CE

〔和名〕

ヒカリゴケ

〔学名〕

Schistostega pennata (Hedw.) F.Weber & D.Mohr

全国カテゴリ

2020 NT

【評価所見】

県西部地域から秩父地域にかけて、いくつか生育が確認されている。山地の荒廃が懸念される危険要因である。

【県内生育状況】

山地の洞窟の中や岩の隙間、木の陰などの土の上に生育

【特記事項】

2035

ハリガネゴケ科蘚類

埼玉カテゴリ

2024 CE
2005 CE

2011 CE
1998 なし

〔和名〕

ヤスダゴケ

〔学名〕

Anomobryum yasudae Broth.

全国カテゴリ

2020 NT

【評価所見】

秩父地域の1か所で確認されている。生育地はかぎられており石灰岩地開発やクライミング場利用での踏み付けなどの他、国道140号線沿いに生息しているため道路拡張などが懸念される危険要因である。採取圧は低い。

【県内生育状況】

水が滝状に流れる石灰岩壁、岩上に生育

【特記事項】

2036

チョウチンゴケ科蘇類

埼玉カテゴリ

2024 CE
2005 なし

2011 CE
1998 CE

〔和名〕

シノブチョウチンゴケ

〔学名〕

Cyrtomnium hymenophylloides (Hueb.) T.J.Kop.

全国カテゴリ

2020 VU

【評価所見】

秩父亜高山帯で確認されているが確認個体数は少ない。生育地の乾燥化やクライミング場利用での踏み付けなどが懸念される危険要因である。

【県内生育状況】

湿った石灰岩上や石灰岩壁に生育

【特記事項】

【県内分布状況】

亜高山	山地	低山西	低山東	丘陵北	丘陵南	荒川 西台地	大宮 台地	加須・ 中川低地
○								

2037

チョウチンゴケ科蘚類

埼玉カテゴリ

2024 CE
2005 CE

2011 CE
1998 なし

〔和名〕

テヅカチョウチンゴケ (テヅカチョウチンゴケ、アズミチョウチンゴケ)

〔学名〕

Plagiomnium tezukae (Sakurai) T.J.Kop.

【評価所見】

秩父亜高山帯の1か所で確認されている。山林の荒廃による生育環境の悪化が懸念される危険要因である。採取圧は低い。

【県内生育状況】

山地の腐植土、木の根元などに生育

【特記事項】

【県内分布状況】

亜高山	山地	低山西	低山東	丘陵北	丘陵南	荒川 西台地	大宮 台地	加須・ 中川低地
○	○							

2038

クサスギコケ科蘚類

埼玉カテゴリ

2024 CE
2005 CE

2011 CE
1998 CE

〔和名〕

ミヤマクサスギゴケ

〔学名〕

Timmia megapolitana Hedw.

【評価所見】

秩父地域の2か所で確認されている。クライミング場利用での乾燥化や踏み付けなどが懸念される危険要因である。

【県内生育状況】

石灰岩地のやや湿った岩上などにまれに生育

【特記事項】

【県内分布状況】

亜高山	山地	低山西	低山東	丘陵北	丘陵南	荒川 西台地	大宮 台地	加須・ 中川低地
	○							

2039

ヒラゴケ科蘇類

〔和名〕

ヒメタチヒラゴケ

〔学名〕

Homaliadelphus targionianus var. rotundatus Nog.

埼玉県カテゴリー

2024 CE
2005 CE

2011 CE
1998 CE

全国カテゴリー

2020 CE

【評価所見】

秩父地域に加え今回西部地域で確認されている。動物による山林の食害やクライミング場利用での乾燥化などが懸念される危険要因である。

【県内生育状況】

石灰岩上に生育

【特記事項】

【県内分布状況】

亜高山	山地	低山西	低山東	丘陵北	丘陵南	荒川 西台地	大宮 台地	加須・ 中川低地
		○						

2040

ヒラゴケ科蘇類

〔和名〕

キブリハネゴケ

〔学名〕

Pinnatella makinoi (Broth.) Broth.

埼玉カテゴリ

2024 CE
2005 なし

2011 CE
1998 CE

全国カテゴリ

2020 NT

【評価所見】

西部地域の1か所で確認されている。クライミング場利用での乾燥化や踏み付けなどが懸念される危険要因である。採取圧は低い。

【県内生育状況】

石灰岩上に生育

【特記事項】

【県内分布状況】

亜高山	山地	低山西	低山東	丘陵北	丘陵南	荒川 西台地	大宮 台地	加須・ 中川低地
					○			

2041

ヒゲゴケ科蘚類

埼玉カテゴリ

2024 CE
2005 CE

2011 CE
1998 CE

〔和名〕

レイシゴケ

〔学名〕

Myurella sibirica (Müll.Hal.) Reimers

【評価所見】

秩父地域亜高山帯の2か所で確認されている。クライミング場利用での乾燥化や踏み付けなどが懸念される危険要因である。

【県内生育状況】

亜高山帯や山地帯の湿った石灰岩上や石灰岩壁に生育

【特記事項】

【県内分布状況】

亜高山	山地	低山西	低山東	丘陵北	丘陵南	荒川 西台地	大宮 台地	加須・ 中川低地
○	○							

2042

シノブゴケ科蘚類

埼玉カテゴリ

2024 CE
2005 DD

2011 CE
1998 DD

〔和名〕

トガリバギボウシゴケ

〔学名〕

Bryonorrisia acutifolius Mitt.

【評価所見】

秩父地域亜高山帯の1か所で確認されている。クライミング場利用での乾燥化や踏み付けなどが懸念される危険要因である。

【県内生育状況】

亜高山帯の石灰岩上に生育

【特記事項】

国内では他に栃木県から報告がある。

【県内分布状況】

亜高山	山地	低山西	低山東	丘陵北	丘陵南	荒川 西台地	大宮 台地	加須・ 中川低地
○								

2043

シノブゴケ科蘚類

埼玉カテゴリ

2024 CE
2005 なし

2011 なし
1998 なし

〔和名〕

ヌマシノブゴケ

〔学名〕

Helodium paludosum (Austin) Austin ex Broth.

【評価所見】

保護地区内の1か所で確認されている。乾燥化などの環境変化等が懸念される危険要因である。

【県内生育状況】

湿地や湿った岩上に生育

【特記事項】

【県内分布状況】

亜高山	山地	低山西	低山東	丘陵北	丘陵南	荒川 西台地	大宮 台地	加須・ 中川低地
								○

2044

シノブゴケ科蘚類

埼玉カテゴリ

2024 CE
2005 なし

2011 DD
1998 なし

〔和名〕

ナガノミヤベゴケ

〔学名〕

Miyabea naganoi Z.Iwats.,Kiguchi & T.Suzuki

【評価所見】

秩父地域の1か所で2017年に63年ぶりに確認されている。クライミング場利用での荒廃や踏み付けなどが懸念される危険要因である。

【県内生育状況】

乾いた石灰岩上や周辺の樹幹に生育

【特記事項】

【県内分布状況】

亜高山	山地	低山西	低山東	丘陵北	丘陵南	荒川 西台地	大宮 台地	加須・ 中川低地

2045

ヤナギゴケ科蘚類

埼玉カテゴリ

2024 CE
2005 CE

2011 CE
1998 なし

〔和名〕

ササオカゴケ (アオモリカギハイゴケ)

〔学名〕

Sasaokaea aomoriensis (Par.) Kanda

【評価所見】

上尾市、加須市で確認されている。上尾市の産地は埋め立てられたため絶滅した。加須市の生育地は県保護指定地になっているので絶滅の心配は少ない。湿地の開発などが懸念される危険要因である。

【県内生育状況】

低地の湿地や池の縁などに生育

【特記事項】

【県内分布状況】

亜高山	山地	低山西	低山東	丘陵北	丘陵南	荒川 西台地	大宮 台地	加須・ 中川低地
								○

2046

ハイゴケ科蘇類

埼玉カテゴリ

2024 CE
2005 CE

2011 CE
1998 CE

(和名)

コホソバツヤゴケ

(学名)

Orthothecium intricatum (Hartm.) Schimp.

全国カテゴリ

2020 なし

【評価所見】

秩父地域で確認されている。クライミング場利用での荒廃や乾燥化などが懸念される危険要因である。採取圧は低い。

【県内生育状況】

亜高山帯の湿った石灰岩上や石灰岩壁に生育

【特記事項】

【県内分布状況】

亜高山	山地	低山西	低山東	丘陵北	丘陵南	荒川西台地	大宮台地	加須・中川低地
○	○							

2047

ハイゴケ科蘇類

埼玉カテゴリ

2024 CE
2005 CE

2011 CE
1998 CE

(和名)

ホソバツヤゴケ（タチミツヤゴケ）

(学名)

Orthothecium rufescens (Dicks. ex Brid.) Schimp.

全国カテゴリ

2020 VU

【評価所見】

秩父地域の石灰岩地で確認されている。生育地の乾燥の他、石灰岩地開発やクライミング場利用での踏み付けなどが懸念される危険要因である。

【県内生育状況】

亜高山帯の湿った石灰岩上や石灰岩壁に生育

【特記事項】

【県内分布状況】

亜高山	山地	低山西	低山東	丘陵北	丘陵南	荒川西台地	大宮台地	加須・中川低地
	○							

2048

サナダゴケ科蘇類

埼玉カテゴリ

2024 CE
2005 CE

2011 CE
1998 CE

(和名)

オオサナダゴケ

(学名)

Plagiothecium neckeroideum Bruch et Schimp. in B.S.G.

全国カテゴリ

2020 VU

【評価所見】

秩父地域で確認されている。比較的多くの場所で報告されているが、森林伐採等、山林の荒廃による乾燥化などが懸念される危険要因である。採集圧は低い。

【県内生育状況】

亜高山帯の湿った腐食土上に生育

【特記事項】

【県内分布状況】

亜高山	山地	低山西	低山東	丘陵北	丘陵南	荒川西台地	大宮台地	加須・中川低地
○	○							

2049

ハイゴケ科蘇類

埼玉カテゴリ

2024 CE
2005 CE

2011 CE
1998 CE

(和名)

サジバラッコゴケ

(学名)

Gollania japonica (Cardot) Ando et M.Higuchi

全国カテゴリ

2020 VU

【評価所見】

秩父地域の石灰岩地1か所で確認されている。石灰岩地のクライミング場利用での荒廃、乾燥化などが懸念される危険要因である。

【県内生育状況】

石灰岩上に生育

【特記事項】

【県内分布状況】

亜高山	山地	低山西	低山東	丘陵北	丘陵南	荒川西台地	大宮台地	加須・中川低地
	○							

2050

ハイゴケ科蘇類

埼玉カテゴリ

2024 CE
2005 CE

2011 CE
1998 CE

(和名)

テリハラッコゴケ

(学名)

Gollania neckerella (Müll.Hal.) Broth.

全国カテゴリ

2020 なし

【評価所見】

秩父地域の石灰岩地で確認されている。石灰岩地のクライミング場利用での荒廃、乾燥化などが懸念される危険要因である。採取圧は低い

【県内生育状況】

石灰岩上に生育

【特記事項】

【県内分布状況】

亜高山	山地	低山西	低山東	丘陵北	丘陵南	荒川西台地	大宮台地	加須・中川低地
○								

2051 ハイゴケ科蘇類

(和名) ナガバラッコゴケ

(学名) *Gollania turgens* (Müll.Hal.) Ando

埼玉カテゴリ

2024 CE

2011 CE

2005 CE

1998 CE

全国カテゴリ

2020 なし

【評価所見】秩父地域の石灰岩地で確認されている。石灰岩地のクライミング場利用での荒廃、乾燥化などが懸念される危険要因である。採取圧は低い

【県内生育状況】石灰岩上に生育

【特記事項】

【県内分布状況】

亜高山	山地	低山西	低山東	丘陵北	丘陵南	荒川 西台地	大宮 台地	加須・ 中川低地
○								

2052 キヌゴケ科蘇類

(和名) ハイヒバゴケモドキ

(学名) *Buckia vaucheri* (Lesq.) D.Rios, M.T.Gallego & J.Guerra

埼玉カテゴリ

2024 CE

2011 CE

2005 CE

1998 なし

全国カテゴリ

2020 CE

【評価所見】奥秩父で確認されている。山地の荒廃などが懸念される危険要因である。

【県内生育状況】山地の岩上や木の根元付近に生育

【特記事項】

【県内分布状況】

亜高山	山地	低山西	低山東	丘陵北	丘陵南	荒川 西台地	大宮 台地	加須・ 中川低地
○								

2053 ハイゴケ科蘇類

(和名) ヒメコガネハイゴケ

(学名) *Podopoea krylovii* (Podp.) Z.Iwats. & Glime

埼玉カテゴリ

2024 CE

2011 CE

2005 CE

1998 なし

全国カテゴリ

2020 CE

【評価所見】奥秩父で確認されている。植物体は小さく見つけることは容易ではない。石灰岩地のクライミング場利用での荒廃、乾燥化などが懸念される危険要因である。

【県内生育状況】林内の土の上や腐木上に生育

【特記事項】

【県内分布状況】

亜高山	山地	低山西	低山東	丘陵北	丘陵南	荒川 西台地	大宮 台地	加須・ 中川低地
	○							

2054 ハマグリゼニゴケ科苔類

(和名) ハマグリゼニゴケ

(学名) *Targionia hypophylla* L.

埼玉カテゴリ

2024 VU

2011 VU

2005 VU

1998 CE

全国カテゴリ

2020 VU

【評価所見】秩父地域で確認されている。シカの食害による山地の森林の荒廃・乾燥化などが懸念される危険要因である。

【県内生育状況】山地の渓流の崖や土上に生育

【特記事項】

【県内分布状況】

亜高山	山地	低山西	低山東	丘陵北	丘陵南	荒川 西台地	大宮 台地	加須・ 中川低地
		○						

2055 ミヤマミズゼニゴケ科苔類

(和名) ミヤマミズゼニゴケ

(学名) *Calycularia laxa* Lindb. & Arnell

埼玉カテゴリ

2024 VU

2011 CE

2005 CE

1998 CE

全国カテゴリ

2020 VU

【評価所見】秩父地域で確認されている。シカの食害による山地の森林の荒廃・乾燥化などが懸念される危険要因である。

【県内生育状況】山地の湿岩上に生育

【特記事項】

【県内分布状況】

亜高山	山地	低山西	低山東	丘陵北	丘陵南	荒川 西台地	大宮 台地	加須・ 中川低地
	○							

2056

チヂレヤハズゴケ科苔類

(和名)

エゾヤハズゴケ

(学名)

Hattorianthus erimonus (Steph.) R.M.Schust. & Inoue

埼玉カテゴリ

2024 VU
2005 VU
2011 VU
1998 VU

全国カテゴリ

2020 なし

【評価所見】

秩父地域で確認されている。シカの食害による山地の森林の荒廃・乾燥化などが懸念される危険要因である。

【県内生育状況】

溪流沿いの岩上などに生育

【特記事項】

【県内分布状況】

亜高山	山地	低山西	低山東	丘陵北	丘陵南	荒川西台地	大宮台地	加須・中川低地
	○							

2057

クラマゴケモドキ科苔類

埼玉カテゴリ

2024 VU

2011 VU

2005 VU

1998 VU

(和名)

ナガバクラマゴケモドキ

(学名)

Porella subobtusa (Steph.) S.Hatt.

全国カテゴリ

2020 なし

【評価所見】

秩父地域で確認されている。シカの食害による山地の森林の荒廃・乾燥化などが懸念される危険要因である。

【県内生育状況】

岩上に生育

【特記事項】

【県内分布状況】

亜高山	山地	低山西	低山東	丘陵北	丘陵南	荒川西台地	大宮台地	加須・中川低地
	○							

2058

ケビラゴケ科苔類

埼玉カテゴリ

2024 VU
2005 なし

2011 VU
1998 なし

(和名)

コミミケビラゴケ（ミミケビラゴケ）

(学名)

Radula auriculata Sande Lac. ex Steph.

全国カテゴリ

2020 CE

【評価所見】

秩父地域の石灰岩地で確認されている。石灰岩地のクライミング場利用での荒廃、乾燥化などが懸念される危険要因である。

【県内生育状況】

石灰岩上などに生育

【特記事項】

【県内分布状況】

亜高山	山地	低山西	低山東	丘陵北	丘陵南	荒川 西台地	大宮 台地	加須・ 中川低地
	○							

2059

クサリゴケ科苔類

(和名)

ヤマナカヨウジョウゴケ

(学名)

Cololejeunea ornata A.Evans

埼玉カテゴリ

2024 VU

2005 VU

2011 VU

1998 VU

全国カテゴリ

2020 なし

【評価所見】

秩父地域の石灰岩地で確認されている。石灰岩地のクライミング場利用での荒廃、乾燥化などが懸念される危険要因である。

【県内生育状況】

石灰岩上に生育するシダや大型の蘚類に着生して生育

【特記事項】

【県内分布状況】

亜高山	山地	低山西	低山東	丘陵北	丘陵南	荒川西台地	大宮台地	加須・中川低地
	○							

2060

クサリゴケ科苔類

(和名)

ヨシナガクロウロコゴケ

(学名)

Dicranolejeunea yoshinagana (S.Hatt.) Mizut.

埼玉カテゴリ

2024 VU

2005 VU

2011 VU

1998 VU

全国カテゴリ

2020 なし

【評価所見】

秩父地域で確認されている。シカの食害による山地の森林の荒廃・乾燥化などが懸念される危険要因である。

【県内生育状況】

山地の湿った岩上に生育

【特記事項】

【県内分布状況】

亜高山	山地	低山西	低山東	丘陵北	丘陵南	荒川西台地	大宮台地	加須・中川低地
	○							

2061

クサリゴケ科苔類

〔和名〕コダマクサリゴケ

〔学名〕*Lejeunea kodamae* Ikegami & Inoue

埼玉県カテゴリー

2024 VU
2005 VU

2011 VU
1998 VU

全国カテゴリー

2020 なし

【評価所見】

西部地域で確認されている。シカの食害による山地の森林の荒廃・乾燥化などが懸念される危険要因である。

【県内生育状況】

温暖で湿潤な溪谷の樹木の樹皮に生育

【特記事項】

【県内分布状況】

亜高山	山地	低山西	低山東	丘陵北	丘陵南	荒川 西台地	大宮 台地	加須・ 中川低地
		○	○					

2062

クサリゴケ科苔類

〔和名〕シダレゴヘイゴケ

〔学名〕*Ptychanthus striatus* (Lehm. & Lindenb.) Nees

埼玉県カテゴリー

2024 VU
2005 なし

2011 なし
1998 なし

全国カテゴリー

2020 なし

【評価所見】

秩父地域で確認されている。シカの食害による山地の森林の荒廃・乾燥化などが懸念される危険要因である。

【県内生育状況】

山地の溪谷に生育

【特記事項】

【県内分布状況】

亜高山	山地	低山西	低山東	丘陵北	丘陵南	荒川 西台地	大宮 台地	加須・ 中川低地
	○							

2063

ウロコゴケ科苔類

〔和名〕トガリバトサカゴケ

〔学名〕*Lophocolea bidentata* (L.) Dumort. (= *Chiloscyphus cuspidatus* (Nees) J.J.Engel & R.M.Schust.)

埼玉県カテゴリー

2024 VU
2005 VU

2011 VU
1998 VU

全国カテゴリー

2020 なし

【評価所見】

秩父地域の石灰岩地で確認されている。石灰岩地のクライミング場利用での踏み付け、乾燥化などが懸念される危険要因である。

【県内生育状況】

石灰岩の隙間などの土上に生育

【特記事項】

【県内分布状況】

亜高山	山地	低山西	低山東	丘陵北	丘陵南	荒川 西台地	大宮 台地	加須・ 中川低地
○								

2064

ハネゴケ科苔類

〔和名〕トサハネゴケ

〔学名〕*Plagiochila fruticosa* Mitt.

埼玉県カテゴリー

2024 VU
2005 CE

2011 CE
1998 なし

全国カテゴリー

2020 なし

【評価所見】

西部地域で確認されている。シカの食害による山地の森林の荒廃・乾燥化などが懸念される危険要因である。

【県内生育状況】

常緑樹林の湿った岩上に生育

【特記事項】

分布の北限として知られている。

【県内分布状況】

亜高山	山地	低山西	低山東	丘陵北	丘陵南	荒川 西台地	大宮 台地	加須・ 中川低地
			○					

2065

ハネゴケ科苔類

〔和名〕ヨコグラハネゴケ

〔学名〕*Plagiochila parvifolia* Lindenb.

埼玉県カテゴリー

2024 VU
2005 VU

2011 VU
1998 VU

全国カテゴリー

2020 なし

【評価所見】

秩父地域や西部地域で確認されている。シカの食害による山地の森林の荒廃・乾燥化などが懸念される危険要因である。

【県内生育状況】

低地の樹幹や岩上に生育

【特記事項】

【県内分布状況】

亜高山	山地	低山西	低山東	丘陵北	丘陵南	荒川 西台地	大宮 台地	加須・ 中川低地
	○		○					

2066

ハネゴケ科苔類

埼玉カテゴリ

2024 VU
2005 VU

2011 VU
1998 VU

全国カテゴリ

2020 なし

〔和名〕

コモチハネゴケ

〔学名〕

Xenochila integrifolia (Mitt.) Inoue

【評価所見】

秩父地域で確認されている。シカの食害による山地の森林の荒廃・乾燥化などが懸念される危険要因である。

【県内生育状況】

山地の倒木や岩上などに生育

【特記事項】

【県内分布状況】

亜高山	山地	低山西	低山東	丘陵北	丘陵南	荒川 西台地	大宮 台地	加須・ 中川低地
	○							

2067

ヒシャクゴケ科苔類

埼玉カテゴリ

2024 VU
2005 VU

2011 VU
1998 VU

全国カテゴリ

2020 VU

〔和名〕

ムカシヒシャクゴケ

〔学名〕

Scapania ornithopoides (With.) Waddell

【評価所見】

秩父地域で確認されている。シカの食害による山地の森林の荒廃・乾燥化などが懸念される危険要因である。

【県内生育状況】

山地帯から亜高山帯の濡れた岩上などに生育

【特記事項】

【県内分布状況】

亜高山	山地	低山西	低山東	丘陵北	丘陵南	荒川 西台地	大宮 台地	加須・ 中川低地
○								

2068

ツキヌキゴケ科苔類

埼玉カテゴリ

2024 VU
2005 CE

2011 CE
1998 DD

全国カテゴリ

2020 なし

〔和名〕

ミドリホラゴケモドキ

〔学名〕

Calypogeia granulata Inoue

【評価所見】

飯能市、越生町で確認されている。シカやイノシシの食害による山林の荒廃・乾燥化が懸念される危険要因である。採集圧は低い。

【県内生育状況】

溪谷の溪流沿に生育

【特記事項】

本県の黒山三滝が基準標本の産地となっている。

【県内分布状況】

亜高山	山地	低山西	低山東	丘陵北	丘陵南	荒川 西台地	大宮 台地	加須・ 中川低地
			○					

2069

カマウロコゴケ科苔類

埼玉カテゴリ

2024 VU
2005 なし

2011 なし
1998 なし

全国カテゴリ

2020 なし

〔和名〕

カマウロコゴケ

〔学名〕

Harpanthus scutatus (F.Weber & D.Mohr) Spruce

【評価所見】

秩父地域亜高山帯で確認されている。シカの食害による山地の森林の荒廃・乾燥化などが懸念される危険要因である。

【県内生育状況】

亜高山帯にまれに生育

【特記事項】

【県内分布状況】

亜高山	山地	低山西	低山東	丘陵北	丘陵南	荒川 西台地	大宮 台地	加須・ 中川低地

2070

ミズゴケ科蘚類

埼玉カテゴリ

2024 VU
2005 VU

2011 VU
1998 VU

全国カテゴリ

2020 DD

〔和名〕

ホソベリミズゴケ（コバノホソベリミズゴケ）

〔学名〕

Sphagnum junghuhnianum Dozy et Molk.

【評価所見】

秩父地域の1か所で確認されている。山林の荒廃による乾燥化や溪谷の開発などが懸念される危険要因である。採取圧は低い。

【県内生育状況】

林内の湿った岩壁などに生育

【特記事項】

【県内分布状況】

亜高山	山地	低山西	低山東	丘陵北	丘陵南	荒川 西台地	大宮 台地	加須・ 中川低地
	○							

2076 センボンゴケ科蘇類

(和名) コアカハマキゴケ

(学名) *Bryoerythrophyllum rubrum* (Jur ex Geh.) Chen var. minus K.Saito

埼玉カテゴリ

2024 VU
2005 VU2011 VU
1998 なし

全国カテゴリ

2020 なし

【評価所見】秩父地域の石灰岩地で確認されている。石灰岩地のクライミング場利用での荒廃、踏み付けなどが懸念される危険要因である。

【県内生育状況】石灰岩上に生育

【特記事項】

【県内分布状況】

亜高山	山地	低山西	低山東	丘陵北	丘陵南	荒川 西台地	大宮 台地	加須・ 中川低地
	○							

2077 センボンゴケ科蘇類

(和名) ノコギリアカハマキゴケ

(学名) *Bryoerythrophyllum wallichii* (Mitt.) P.C.Chen

埼玉カテゴリ

2024 VU
2005 VU2011 VU
1998 なし

全国カテゴリ

2020 なし

【評価所見】秩父地域の石灰岩地で確認されている。石灰岩地のクライミング場利用での荒廃、踏み付けなどが懸念される危険要因である。採取圧は低い。

【県内生育状況】石灰岩上に生育

【特記事項】

【県内分布状況】

亜高山	山地	低山西	低山東	丘陵北	丘陵南	荒川 西台地	大宮 台地	加須・ 中川低地
	○							

2078 センボンゴケ科蘇類

(和名) ノコギリフタゴゴケ

(学名) *Geheebia erosodenticulata* (Müll.Hal.) J.A.Jiménez & M.J.Cano

埼玉カテゴリ

2024 VU
2005 VU2011 VU
1998 なし

全国カテゴリ

2020 なし

【評価所見】秩父地域の石灰岩地で確認されている。石灰岩地のクライミング場利用や周辺開発での荒廃、乾燥化などが懸念される危険要因である。採取圧は低い。

【県内生育状況】石灰岩上に生育

【特記事項】

【県内分布状況】

亜高山	山地	低山西	低山東	丘陵北	丘陵南	荒川 西台地	大宮 台地	加須・ 中川低地
	○							

2079 センボンゴケ科蘇類

(和名) イトヒキフタゴゴケ

(学名) *Didymodon leskeoides* K.Saito

埼玉カテゴリ

2024 VU
2005 VU2011 VU
1998 なし

全国カテゴリ

2020 なし

【評価所見】秩父地域の石灰岩地で確認されている。石灰岩地のクライミング場利用や周辺開発での荒廃、乾燥化などが懸念される危険要因である。採取圧は低い。

【県内生育状況】亜高山帯の石灰岩上などに生育

【特記事項】本県の芋ノ木ドッケが基準標本の産地となっている。

【県内分布状況】

亜高山	山地	低山西	低山東	丘陵北	丘陵南	荒川 西台地	大宮 台地	加須・ 中川低地
○	○							

2080 センボンゴケ科蘇類

(和名) カイガネクロゴケ

(学名) *Didymodon nigrescens* (Mitt.) K.Saito

埼玉カテゴリ

2024 VU
2005 VU2011 VU
1998 VU

全国カテゴリ

2020 なし

【評価所見】秩父地域亜高山帯の石灰岩地で確認されている。石灰岩地のクライミング場利用や周辺開発での荒廃、乾燥化などが懸念される危険要因である。採取圧は低い。

【県内生育状況】亜高山帯の石灰岩上に生育

【特記事項】国内では他に山梨県北岳、徳島県剣岳で報告がある。

【県内分布状況】

亜高山	山地	低山西	低山東	丘陵北	丘陵南	荒川 西台地	大宮 台地	加須・ 中川低地
○								

2086

チヂレゴケ科蘇類

埼玉カテゴリ

2024 VU
2005 NT

2011 VU
1998 NT

和名

ヤマトハクチョウゴケ

学名

Campylostelium saxicola var. *brachycarpum* Nog.

全国カテゴリ

2020 VU

【評価所見】

秩父地域の十文字峠付近で確認されている。小型の藻類のため発見は困難。山林の荒廃による環境変化などが懸念される危険要因である。

【県内生育状況】

亜高山帯や山地帯の林内の小石上や岩上に生育

【特記事項】

【県内分布状況】

亜高山	山地	低山西	低山東	丘陵北	丘陵南	荒川 西台地	大宮 台地	加須・ 中川低地
○								

2087

ヒナノハイゴケ科蘇類

埼玉カテゴリ

2024 VU
2005 NT

2011 VU
1998 NT

和名

ヒメシワゴケ

学名

Aulacopilum japonicum Broth. ex Cardot

全国カテゴリ

2020 なし

【評価所見】

西部地域や東部地域の3か所で確認されている。空中湿度が減少すると着生の蘇苔類は減少する可能性があるため、山林の荒廃による乾燥などの環境変化等が懸念される危険要因である。採集圧は低い。

【県内生育状況】

公園や林内の樹皮上に生育

【特記事項】

【県内分布状況】

亜高山	山地	低山西	低山東	丘陵北	丘陵南	荒川 西台地	大宮 台地	加須・ 中川低地
				○			○	○

2088

ハリガネゴケ科蘇類

埼玉カテゴリ

2024 VU
2005 なし

2011 なし
1998 なし

和名

コシノシンジゴケ

学名

Schizymenium sasaokae (Broth.) Tad,Suzuki

全国カテゴリ

2020 VU

【評価所見】

県内で過去に生育が確認されている。シカの食害による山地の森林の荒廃・乾燥化などが懸念される危険要因である。

【県内生育状況】

亜高山帯の岩上に生育

【特記事項】

【県内分布状況】

亜高山	山地	低山西	低山東	丘陵北	丘陵南	荒川 西台地	大宮 台地	加須・ 中川低地

2089

ハリガネゴケ科蘇類

埼玉カテゴリ

2024 VU
2005 VU

2011 VU
1998 VU

和名

カサゴケモドキ

学名

Rhodobryum ontariense (Kindb.) Kindb.

全国カテゴリ

2020 VU

【評価所見】

秩父地域5か所で確認されている。山地の荒廃による環境変化の他、大型の蘇類で採取圧が高いことなどが懸念される危険要因である。

【県内生育状況】

山地帯の石灰岩の岩上や腐植土の上などに生育

【特記事項】

【県内分布状況】

亜高山	山地	低山西	低山東	丘陵北	丘陵南	荒川 西台地	大宮 台地	加須・ 中川低地
○	○							

2090

チョウチンゴケ科蘇類

埼玉カテゴリ

2024 VU
2005 VU

2011 VU
1998 なし

和名

トゲチョウチンゴケ

学名

Mnium spinosum (Voit ex Sturm) Schwaegr.

全国カテゴリ

2020 なし

【評価所見】

秩父地域1か所で確認されている。森林の荒廃による乾燥化や土壌流出などが懸念される危険要因である。

【県内生育状況】

亜高山帯などの湿った土上や腐植土上に生育

【特記事項】

【県内分布状況】

亜高山	山地	低山西	低山東	丘陵北	丘陵南	荒川 西台地	大宮 台地	加須・ 中川低地
○								

2091

タマゴケ科蘚類

埼玉カテゴリ

2024 VU
2005 NT

2011 VU
1998 NT

全国カテゴリ

2020 なし

〔和名〕

コウライタマゴケ

〔学名〕

Bartramia ithyphylla Brid.

【評価所見】

秩父地域1か所で確認されている。森林の荒廃による乾燥化などが懸念される危険要因である。採取圧は低い。

【県内生育状況】

亜高山帯の岩のすき間の腐植土上などに生育

【特記事項】

【県内分布状況】

亜高山	山地	低山西	低山東	丘陵北	丘陵南	荒川 西台地	大宮 台地	加須・ 中川低地
○								

2092

タチヒダゴケ科蘚類

埼玉カテゴリ

2024 VU
2005 VU

2011 VU
1998 VU

全国カテゴリ

2020 なし

〔和名〕

ホソミノゴケ

〔学名〕

Macrocoma tenuis (Hook. & Grev.) Vitt subsp. sullivantii (Müll.Hal.) Vitt

【評価所見】

秩父地域1か所で確認されている。石灰岩地のクライミング場利用での荒廃、乾燥化などが懸念される危険要因である。

【県内生育状況】

石灰岩地の林内の樹上や岩上に生育

【特記事項】

【県内分布状況】

亜高山	山地	低山西	低山東	丘陵北	丘陵南	荒川 西台地	大宮 台地	加須・ 中川低地
		○						

2093

タチヒダゴケ科蘚類

埼玉カテゴリ

2024 VU
2005 VU

2011 VU
1998 VU

全国カテゴリ

2020 なし

〔和名〕

モミゴケ

〔学名〕

Schlotheimia grevilleana Mitt.

【評価所見】

秩父地域で今回久しぶりに確認されている。山林の荒廃による乾燥化などが懸念される危険要因である。

【県内生育状況】

林内の樹幹や岩上に生育

【特記事項】

【県内分布状況】

亜高山	山地	低山西	低山東	丘陵北	丘陵南	荒川 西台地	大宮 台地	加須・ 中川低地

2094

ムジナゴケ科蘚類

埼玉カテゴリ

2024 VU
2005 NT

2011 VU
1998 NT

全国カテゴリ

2020 なし

〔和名〕

ホソムジナゴケ

〔学名〕

Trachypus humilis Lindb.

【評価所見】

西部地域の3か所で確認されている。石灰岩地のクライミング場整備での開発や利用による荒廃などが懸念される危険要因である。

【県内生育状況】

石灰岩壁やチャート岩壁に生育

【特記事項】

【県内分布状況】

亜高山	山地	低山西	低山東	丘陵北	丘陵南	荒川 西台地	大宮 台地	加須・ 中川低地
			○	○	○			

2095

ヒムロゴケ科蘚類

埼玉カテゴリ

2024 VU
2005 VU

2011 VU
1998 VU

全国カテゴリ

2020 なし

〔和名〕

ナワゴケ

〔学名〕

Eumyurium sinicum (Mitt.) Nog.

【評価所見】

秩父地域の1か所で確認されていたが、現在はゴルフ場になっているため、その産地では絶滅したと思われる。

【県内生育状況】

樹幹に生育

【特記事項】

【県内分布状況】

亜高山	山地	低山西	低山東	丘陵北	丘陵南	荒川 西台地	大宮 台地	加須・ 中川低地
		○						

2096 ハイヒモゴケ科蘇類

〔和名〕キョスミイトゴケ

〔学名〕*Neodicladiella flagellifera* (Cardot) Huttunen & D.Quandt

埼玉カテゴリ

2024 VU

2011 VU

2005 VU

1998 VU

全国カテゴリ

2020 なし

【評価所見】西部地域で確認されている。空中湿度の高い、日当たりの良い溪谷にみられるため、山林の荒廃による乾燥化などが懸念される危険要因である。

【県内生育状況】溪流の木の枝から垂れ下がって生育

【特記事項】

【県内分布状況】

亜高山	山地	低山西	低山東	丘陵北	丘陵南	荒川 西台地	大宮 台地	加須・ 中川低地
			○		○			

2097 ハイヒモゴケ科蘇類

〔和名〕イトゴケ

〔学名〕*Neodicladiella pendula* (Sull.) W.R.Buck

埼玉カテゴリ

2024 VU

2011 VU

2005 VU

1998 VU

全国カテゴリ

2020 なし

【評価所見】秩父地域の十文字峠付近で確認されている。本来は暖かい地方の空中湿度の高い場所に見られる種であるため、山林の荒廃による乾燥化などが懸念される危険要因である。

【県内生育状況】低木の枝から垂れ下がって生育

【特記事項】

【県内分布状況】

亜高山	山地	低山西	低山東	丘陵北	丘陵南	荒川 西台地	大宮 台地	加須・ 中川低地
○								

2098 ハイヒモゴケ科蘇類

〔和名〕ソリシダレゴケ（シダレゴケ）

〔学名〕*Chrysocladium retrorsum* (Mitt.) Fleisch.

埼玉カテゴリ

2024 VU

2011 VU

2005 NT

1998 NT

全国カテゴリ

2020 なし

【評価所見】秩父地域の秩父神社で確認されている。山林の荒廃による乾燥化などが懸念される危険要因である。採集圧は低い。

【県内生育状況】山地の樹上や岩上に生育

【特記事項】

【県内分布状況】

亜高山	山地	低山西	低山東	丘陵北	丘陵南	荒川 西台地	大宮 台地	加須・ 中川低地
	○							

2099 ハイヒモゴケ科蘇類

〔和名〕サイコクサガリゴケ

〔学名〕*Meteorium buchananii* (Broth.) Broth. var. *cuspidatum* (S.Okamura) Nog.

埼玉カテゴリ

2024 VU

2011 VU

2005 なし

1998 VU

全国カテゴリ

2020 なし

【評価所見】秩父地域や西部地域の10か所で確認されている。平均気温の上昇とともに個体数は減少しているため平均気温の上昇や森林の荒廃による乾燥化などが懸念される危険要因である。

【県内生育状況】山地の樹幹や垂直な岸壁に生育

【特記事項】

【県内分布状況】

亜高山	山地	低山西	低山東	丘陵北	丘陵南	荒川 西台地	大宮 台地	加須・ 中川低地
	○	○	○					

2100 ヒラゴケ科蘇類

〔和名〕シタゴケ

〔学名〕*Bissetia lingulata* (Mitt.) Broth.

埼玉カテゴリ

2024 VU

2011 VU

2005 VU

1998 DD

全国カテゴリ

2020 なし

【評価所見】奥秩父の武甲山と中津川で確認されている。武甲山は現在生育が確認できない。石灰岩地のクライミング場整備での開発や利用による荒廃などが懸念される危険要因である。

【県内生育状況】山地の樹上などに生育

【特記事項】

【県内分布状況】

亜高山	山地	低山西	低山東	丘陵北	丘陵南	荒川 西台地	大宮 台地	加須・ 中川低地
	○							

2101 ヒラゴケ科蘇類

〔和名〕キダチヒラゴケ

〔学名〕*Homaliodendron flabellatum* (Sw.) Fleisch埼玉カテゴリ 2024 VU 2011 VU
2005 VU 1998 VU

全国カテゴリ 2020 なし

【評価所見】西部地域及び秩父地域において永野（1964）の報告で4か所。その後2か所で確認されている。永野の報告4か所では現在確認されていない。山地の荒廃・乾燥化が懸念される危険要因である。採集圧は低い。

【県内生育状況】樹幹や岩上に生育

【特記事項】

【県内分布状況】

亜高山	山地	低山西	低山東	丘陵北	丘陵南	荒川 西台地	大宮 台地	加須・ 中川低地
	○				○			

2102 ヒラゴケ科蘇類

〔和名〕コメリンスゴケ（コメリスンゴケ）

〔学名〕*Neckera flexiramea* Cardot埼玉カテゴリ 2024 VU 2011 VU
2005 VU 1998 VU

全国カテゴリ 2020 なし

【評価所見】西部地域の1か所で確認されている。空中湿度の高い場所の樹幹に生育するため、山地の荒廃による乾燥化などが懸念される危険要因である。

【県内生育状況】渓流の木の枝から垂れ下がりて生育

【特記事項】

【県内分布状況】

亜高山	山地	低山西	低山東	丘陵北	丘陵南	荒川 西台地	大宮 台地	加須・ 中川低地
			○					

2103 アブラゴケ科蘇類

〔和名〕ツガゴケ

〔学名〕*Leskeodon maibarae* (Besch.) B.C.Ho & L.Pokorny埼玉カテゴリ 2024 VU 2011 VU
2005 VU 1998 VU

全国カテゴリ 2020 なし

【評価所見】西部地域の4か所で確認されている。薄暗い谷で、水の滴るチャートの岩壁などに生育するため、産地の荒廃による乾燥化などが懸念される危険要因である。

【県内生育状況】湿った林内の岩上などに生育

【特記事項】

【県内分布状況】

亜高山	山地	低山西	低山東	丘陵北	丘陵南	荒川 西台地	大宮 台地	加須・ 中川低地
			○		○			

2104 クジャクゴケ科蘇類

〔和名〕コキジノオゴケ

〔学名〕*Cyathophorella hookeriana* (Griff.) Fleisch.埼玉カテゴリ 2024 VU 2011 VU
2005 なし 1998 なし

全国カテゴリ 2020 NT

【評価所見】西部地域において永野（1964）で4か所確認されているが、現在確認できるのは1か所である。溪谷の開けた場所にある樹幹やチャート上に生育するため、山林の荒廃などが懸念される危険要因である。採集圧は低い。

【県内生育状況】林内の樹上や岩上に生育

【特記事項】

【県内分布状況】

亜高山	山地	低山西	低山東	丘陵北	丘陵南	荒川 西台地	大宮 台地	加須・ 中川低地
					○			

2105 シノブゴケ科蘇類

〔和名〕スギバシノブゴケ

〔学名〕*Thuidium lepidoziaeum* Sakurai埼玉カテゴリ 2024 VU 2011 なし
2005 なし 1998 なし

全国カテゴリ 2020 VU

【評価所見】奥秩父の梓白岩で過去に生育が確認されている。

【県内生育状況】亜高山帯の石灰岩地に生育

【特記事項】

【県内分布状況】

亜高山	山地	低山西	低山東	丘陵北	丘陵南	荒川 西台地	大宮 台地	加須・ 中川低地
○								

2106 ヤナギゴケ科蘇類

(和名) シメリゴケ

(学名) *Hygrohypnum luridum* (Hedw.) Jenn.

埼玉カテゴリ

2024 VU

2011 VU

2005 VU

1998 VU

全国カテゴリ

2020 なし

【評価所見】秩父地域の1か所で確認されている。石灰岩地のクライミング場整備での開発や利用による荒廃などが懸念される危険要因である。

【県内生育状況】山地の石灰岩上に生育

【特記事項】

【県内分布状況】

亜高山	山地	低山西	低山東	丘陵北	丘陵南	荒川 西台地	大宮 台地	加須・ 中川低地
	○							

2107 アオギヌゴケ科蘇類

(和名) ヒゲバゴケ

(学名) *Brachythecium cirrosum* (Schwaegr.) Schimp.

埼玉カテゴリ

2024 VU

2011 VU

2005 NT

1998 NT

全国カテゴリ

2020 なし

【評価所見】秩父地域の4か所で確認されている。石灰岩地のクライミング場整備での開発や利用による乾燥化などが懸念される危険要因である。採取圧は低い。

【県内生育状況】亜高山帯の岩上などに生育

【特記事項】

【県内分布状況】

亜高山	山地	低山西	低山東	丘陵北	丘陵南	荒川 西台地	大宮 台地	加須・ 中川低地
○								

2108 ツヤゴケ科蘇類

(和名) フトサナダゴケ

(学名) *Entodon luridus* (Griff.) A.Jaeger

埼玉カテゴリ

2024 VU

2011 VU

2005 VU

1998 なし

全国カテゴリ

2020 なし

【評価所見】秩父地域の荒川源流域から中津川にかけて確認されている。清流中に生育する数少ない蘇類の一種である。ダム開発や道路整備、山林の荒廃による土砂の河川流入などが懸念される危険要因である。

【県内生育状況】山地の溪流沿いの湿った岩上に生育

【特記事項】

【県内分布状況】

亜高山	山地	低山西	低山東	丘陵北	丘陵南	荒川 西台地	大宮 台地	加須・ 中川低地
	○							

2109 ウキゴケ科苔類

(和名) イチョウウキゴケ (イチョウウキクサ、イチョウモ)

(学名) *Ricciocarpos natans* (L.) Corda

埼玉カテゴリ

2024 NT

2011 VU

2005 VU

1998 CE

全国カテゴリ

2020 NT

【評価所見】西部地域や秩父地域で確認されている。今回も各地で確認されている。水田に生育するため農法の変化などによる環境変化などが懸念される危険要因である。採取圧は低い。

【県内生育状況】水田や池の水面に浮遊して生育

【特記事項】

【県内分布状況】

亜高山	山地	低山西	低山東	丘陵北	丘陵南	荒川 西台地	大宮 台地	加須・ 中川低地
		○	○	○	○	○	○	○

2110 ヤバネゴケ科苔類

(和名) シフネルゴケ

(学名) *Schiffneria hyalina* Steph.

埼玉カテゴリ

2024 NT

2011 なし

2005 なし

1998 なし

全国カテゴリ

2020 なし

【評価所見】本県では自然の博物館に標本として登録されており、他に8県のレッドデータブックに掲載されている。シカの食害による森林の荒廃・乾燥化などが懸念される危険要因である。

【県内生育状況】常緑樹林の倒木上や樹林の根元に生育

【特記事項】

【県内分布状況】

亜高山	山地	低山西	低山東	丘陵北	丘陵南	荒川 西台地	大宮 台地	加須・ 中川低地

2111 ミズゴケ科蘇類

(和名) ウロコミズゴケ

(学名) *Sphagnum squarrosum* Crome埼玉カテゴリ 2024 NT 2011 なし
2005 なし 1998 なし

全国カテゴリ 2020 なし

【評価所見】 本県では自然の博物館に標本として登録されており、他に9県のレッドデータブックに掲載されている。シカの食害による森林の荒廃・乾燥化などが懸念される危険要因である。

【県内生育状況】 湿原周辺の木陰の湿った場所に生育

【特記事項】

【県内分布状況】

亜高山	山地	低山西	低山東	丘陵北	丘陵南	荒川 西台地	大宮 台地	加須・ 中川低地
	○							

2112 センボンゴケ科蘇類

(和名) イワマセンボンゴケ (イワマホンモンジゴケ)

(学名) *Scopelophila ligulata* (Spruce) Spruce埼玉カテゴリ 2024 NT 2011 なし
2005 なし 1998 なし

全国カテゴリ 2020 なし

【評価所見】 秩父地域の日室鉾山付近で確認されている。シカの食害による森林の荒廃・乾燥化などが懸念される危険要因である。

【県内生育状況】

【特記事項】

【県内分布状況】

亜高山	山地	低山西	低山東	丘陵北	丘陵南	荒川 西台地	大宮 台地	加須・ 中川低地
	○	○						

2113 コウヤノマンネングサ科蘇類

(和名) コウヤノマンネングサ

(学名) *Climacium japonicum* Lindb.埼玉カテゴリ 2024 NT 2011 なし
2005 なし 1998 なし

全国カテゴリ 2020 なし

【評価所見】 本県では自然の博物館に標本として登録されており、他に8府県のレッドデータブックに掲載されている。シカの食害による森林の荒廃・乾燥化や販売目的での採取などが懸念される危険要因である。

【県内生育状況】 山地の林下の湿った地上に群生

【特記事項】

【県内分布状況】

亜高山	山地	低山西	低山東	丘陵北	丘陵南	荒川 西台地	大宮 台地	加須・ 中川低地
	○	○						

2114 フジノマンネングサ科蘇類

(和名) フジノマンネングサ

(学名) *Pleuroziopsis ruthenica* (Weinm.) Kindb. ex E.Britton埼玉カテゴリ 2024 NT 2011 なし
2005 なし 1998 なし

全国カテゴリ 2020 なし

【評価所見】 本県では自然の博物館に標本として登録されており、他に5県のレッドデータブックに掲載されている。シカの食害による森林の荒廃・乾燥化や販売目的での採取などが懸念される危険要因である。

【県内生育状況】 山地の林下の腐食土壌や腐食した木の上に群生

【特記事項】

【県内分布状況】

亜高山	山地	低山西	低山東	丘陵北	丘陵南	荒川 西台地	大宮 台地	加須・ 中川低地
	○	○						

2115 イトヒバゴケ科蘇類

(和名) ツルゴケ

(学名) *Pilotrichopsis dentata* (Mitt.) Besch.埼玉カテゴリ 2024 NT 2011 なし
2005 なし 1998 なし

全国カテゴリ 2020 なし

【評価所見】 本県では自然の博物館に標本として登録されており、他に6県のレッドデータブックに掲載されている。シカの食害による森林の荒廃・乾燥化などが懸念される危険要因である。

【県内生育状況】 南方系のコケだが、古生代の岩石上や林中の樹上・岩上に生育

【特記事項】

【県内分布状況】

亜高山	山地	低山西	低山東	丘陵北	丘陵南	荒川 西台地	大宮 台地	加須・ 中川低地
	○	○						

2116 イタチゴケ科蘇類

(和名) リスゴケ

(学名) *Dozya japonica* Lac.

埼玉カテゴリ

2024 NT 2011 なし
2005 なし 1998 なし

全国カテゴリ

2020 なし

【評価所見】 本県では自然の博物館に標本として登録されているが近年確認できていない。他に6府県のレッドデータブックに掲載されている。シカの食害による森林の荒廃・乾燥化などが懸念される危険要因である。

【県内生育状況】 樹上やまれに岩上に群生して生育

【特記事項】

【県内分布状況】

亜高山	山地	低山西	低山東	丘陵北	丘陵南	荒川 西台地	大宮 台地	加須・ 中川低地
	○							

2117 ハイヒモゴケ科蘇類

(和名) コハイヒモゴケ

(学名) *Meteorium buchananii* (Broth.) Broth. ssp. *helminthocladulum* (Cardot) Nog.

埼玉カテゴリ

2024 NT 2011 なし
2005 VU 1998 なし

全国カテゴリ

2020 なし

【評価所見】 本県では自然の博物館に標本として登録されており、他に7府県のレッドデータブックに掲載されている。シカの食害による森林の荒廃・乾燥化などが懸念される危険要因である。

【県内生育状況】 南方系のコケだが二子山などの山地帯の石灰岩上にも多く生育

【特記事項】

【県内分布状況】

亜高山	山地	低山西	低山東	丘陵北	丘陵南	荒川 西台地	大宮 台地	加須・ 中川低地
	○	○	○					

2118 ウキゴケ科苔類

(和名) ウキゴケとその近縁種

(学名) *Riccia fluitans* L., s.lat.

埼玉カテゴリ

2024 DD 2011 VU
2005 VU 1998 CE

全国カテゴリ

2020 なし

【評価所見】 東部地域に広く分布している。近年複数の種に分けられることが報告されているため引き続き調査が必要。宅地造成、湿地開発、農薬散布などが懸念される危険要因である。採集圧は低い。

【県内生育状況】 水田、水路の水中に浮遊したり、湿った土上に生育

【特記事項】

【県内分布状況】

亜高山	山地	低山西	低山東	丘陵北	丘陵南	荒川 西台地	大宮 台地	加須・ 中川低地
		○	○	○	○	○	○	○

2119 ヤスデゴケ科苔類

(和名) シコクヤスデゴケ

(学名) *Frullania valida* Steph.

埼玉カテゴリ

2024 DD 2011 DD
2005 DD 1998 DD

全国カテゴリ

2020 なし

【評価所見】 秩父地域で報告されているが近年は生育が確認できない。絶滅した可能性も高い。山林の荒廃による乾燥化などが懸念される危険要因である。

【県内生育状況】 山地の樹幹に着生して生育

【特記事項】

【県内分布状況】

亜高山	山地	低山西	低山東	丘陵北	丘陵南	荒川 西台地	大宮 台地	加須・ 中川低地
	○	○						

2120 ソロイゴケ科苔類

(和名) ヒマラヤソロイゴケ

(学名) *Solenostoma appressifolium* (Mitt.) Vána & D.G.Long

埼玉カテゴリ

2024 DD 2011 DD
2005 DD 1998 なし

全国カテゴリ

2020 なし

【評価所見】 秩父地域の甲武信岳山頂付近で確認されているがその後50年以上確認されていない。採取圧は低い。

【県内生育状況】 花崗岩上に生育

【特記事項】

【県内分布状況】

亜高山	山地	低山西	低山東	丘陵北	丘陵南	荒川 西台地	大宮 台地	加須・ 中川低地
○								

2121 ソロイゴケ科苔類

〔和名〕 オオアミメツボミゴケ

〔学名〕 *Solenostoma shimizuanum* (Vána) Vána, Hentschel & Heinrichs

埼玉カテゴリ

2024 DD
2005 なし2011 なし
1998 なし

全国カテゴリ

2020 なし

【評価所見】 秩父地域1か所で確認されているが近年は生育が確認できない。シカの食害による森林の荒廃・乾燥化などが懸念される危険要因である。

【県内生育状況】 花崗岩上に生育

【特記事項】

【県内分布状況】

亜高山	山地	低山西	低山東	丘陵北	丘陵南	荒川 西台地	大宮 台地	加須・ 中川低地
		○						

2122 センボンゴケ科蘚類

〔和名〕 チチブアカハマキゴケ

〔学名〕 *Bryoerythrophyllum calcareum* (Thér) R.H.Zander

埼玉カテゴリ

2024 DD
2005 なし2011 DD
1998 なし

全国カテゴリ

2020 なし

【評価所見】 秩父地域1か所で確認されているが、道路脇の掘削が行われその後確認されていない。

【県内生育状況】 林道脇に生育

【特記事項】

【県内分布状況】

亜高山	山地	低山西	低山東	丘陵北	丘陵南	荒川 西台地	大宮 台地	加須・ 中川低地
	○							

2123 イトヒバゴケ科蘚類

〔和名〕 イトヒバゴケ (クワノイトヒバゴケ)

〔学名〕 *Cryphaea obovatocarpa* S.Okamura

埼玉カテゴリ

2024 DD
2005 CE2011 CE
1998 CE

全国カテゴリ

2020 CE

【評価所見】 秩父地域1か所で確認されているが、着生していたクワの木が伐採されその後確認されていない。

【県内生育状況】 木に着生して生育

【特記事項】

【県内分布状況】

亜高山	山地	低山西	低山東	丘陵北	丘陵南	荒川 西台地	大宮 台地	加須・ 中川低地
		○						

2124 ヒムロゴケ科蘚類

〔和名〕 オオミミゴケ

〔学名〕 *Meteoriella soluta* (Mitt.) S.Okamura

埼玉カテゴリ

2024 DD
2005 DD2011 DD
1998 DD

全国カテゴリ

2020 なし

【評価所見】 秩父地域の生育が旧植物誌で報告されているが、40年以上県内では確認されていない。山地の荒廃などが懸念される危険要因である。

【県内生育状況】 山地の樹上や岩上に生育

【特記事項】

【県内分布状況】

亜高山	山地	低山西	低山東	丘陵北	丘陵南	荒川 西台地	大宮 台地	加須・ 中川低地

2125 ハイヒモゴケ科蘚類

〔和名〕 ハイヒモゴケ

〔学名〕 *Meteorium subpolytrichum* (Besch.) Broth.

埼玉カテゴリ

2024 DD
2005 DD2011 DD
1998 DD

全国カテゴリ

2020 なし

【評価所見】 秩父・比企・入間での生育が旧植物誌で報告されているが、40年以上県内では確認されていない。山地の荒廃などが懸念される危険要因である。

【県内生育状況】 山地の樹上や岩上に生育

【特記事項】

【県内分布状況】

亜高山	山地	低山西	低山東	丘陵北	丘陵南	荒川 西台地	大宮 台地	加須・ 中川低地

2126 ハイヒモゴケ科蘇類

〔和名〕 タカサゴサガリゴケ

〔学名〕 *Pseudobarbella levieri* (Renauld & Cardot) Nog.

埼玉カテゴリ

2024 DD
2005 DD2011 DD
1998 なし

全国カテゴリ

2020 なし

【評価所見】秩父地域の雲取山から七ツ石に至る山稜で永野(1964)の報告があるが、40年以上県内では確認されていない。山地の荒廃による乾燥化などが懸念される危険要因である。

【県内生育状況】山地の樹木の枝から下垂して生育

【特記事項】

【県内分布状況】

亜高山	山地	低山西	低山東	丘陵北	丘陵南	荒川 西台地	大宮 台地	加須・ 中川低地

2127 ヒラゴケ科蘇類

〔和名〕 サিশュウヒラゴケ

〔学名〕 *Neckera fauriei* Cardot

埼玉カテゴリ

2024 DD
2005 DD2011 DD
1998 DD

全国カテゴリ

2020 なし

【評価所見】秩父地域の生育が旧植物誌で報告されているが、40年以上県内では確認されていない。石灰岩地のクライミング場利用での荒廃、乾燥化などが懸念される危険要因である。採集圧は低い。

【県内生育状況】暖地性の蘇類で樹幹に生育

【特記事項】

【県内分布状況】

亜高山	山地	低山西	低山東	丘陵北	丘陵南	荒川 西台地	大宮 台地	加須・ 中川低地

2128 ホソバツガゴケ科蘇類

〔和名〕 シダレウニゴケ

〔学名〕 *Symphyodon perrottetii* Mont.

埼玉カテゴリ

2024 DD
2005 CE2011 CE
1998 CE

全国カテゴリ

2020 VU

【評価所見】秩父地域の3か所で確認されており、今回は中津川を除く2か所で確認された。確認された個体数は非常に少ない。山林の荒廃による乾燥化などが懸念される危険要因である。

【県内生育状況】まれな蘇類で暖地の樹木に着生

【特記事項】

【県内分布状況】

亜高山	山地	低山西	低山東	丘陵北	丘陵南	荒川 西台地	大宮 台地	加須・ 中川低地
	○							

2129 ハイゴケ科蘇類

〔和名〕 ヤリノホゴケ

〔学名〕 *Calliergonella cuspidata* (Hedw.) Loeske

埼玉カテゴリ

2024 DD
2005 VU2011 DD
1998 VU

全国カテゴリ

2020 なし

【評価所見】加須市浮野で確認されているが近年生育が確認されていない。生育地の環境変化などが懸念される危険要因である。採集圧は低い。

【県内生育状況】低地の湿地や草地に生育

【特記事項】

【県内分布状況】

亜高山	山地	低山西	低山東	丘陵北	丘陵南	荒川 西台地	大宮 台地	加須・ 中川低地